

重症急性腎障害における腎代替療法の開始時期の検討

2016年1月1日から2021年12月31日までに重症急性腎障害における腎代替療法を実施した患者さん
研究協力をお願い

当科では「重症急性腎障害（AKI）における腎代替療法の開始時期の検討」という研究を行います。この研究は、2016年1月1日より2021年12月31日までに日本医科大学付属病院にて、重症急性腎障害（AKI）のために入院された患者さんの臨床的特徴と予後を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

（１）研究の概要について

研究課題名：「重症急性腎障害（AKI）における腎代替療法の開始時期の検討」

研究期間：研究許可日～2025年12月31日

研究責任者：日本医科大学 医療管理学 大学院教授代行 近藤 幸尋

（２）研究の意義、目的について

AKIは、院内死亡率の高い疾患です。一方で、腎代替療法における医療機器の選択や開始時期、血液浄化量などは個々の症例の病態と医療体制により決められていますが、エビデンスに支持された最適な治療条件は未だ確立されていない状況です。本研究は、当院における急性血液浄化療法の具体的な開始時期の指標について、調査および検討を行い、医療の質向上を目的としています。

（３）研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について）

2016年1月1日より2021年12月31日までに日本医科大学付属病院にて、急性腎障害により腎代替療法を実施した患者さんを対象とします。この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

- ・情報：年齢、性別、現病歴、内服歴、再入院など
- ・採血データ：Na, K, Cr, BUN, BNP, NT-proBNP など
- ・試料：なし

（４）共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：日本医科大学 医療管理学

研究全体の責任者：日本医科大学 医療管理学 大学院教授代行 近藤 幸尋

その他の共同研究機関：日本医科大学付属病院（研究責任者：久保田芳明）、日本医科大学千葉北総病院（研究責任者：柴田 祐作）

（５）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）」に則り、個人情報の保護に努めます。

（６）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

（７）問い合わせ等の連絡先

日本医科大学 医療管理学 西野 拓也

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24970

メールアドレス：takuya-nishino@nms.ac.jp